

平成25年度 八洲学園高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 設置会場（キャンパス）一覧

名称	所有区分	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
本校事務センター	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3	072-262-5849	072-262-8282
堺本校	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 8-3-25	072-262-8281	072-264-0950
梅田キャンパス	賃貸	530-0003	大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2F	06-6343-1173	06-6343-1174
三宮キャンパス	賃貸	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F	078-261-2835	078-261-2836
横浜分校	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	045-312-5588	045-312-5606
新宿キャンパス	賃貸	160-0022	東京都新宿区西新宿 7-11-18 711 ビル 7F	03-3225-5491	03-3225-5494
池袋キャンパス	賃貸	171-0022	東京都豊島区南池袋 3-11-10 ペリエ池袋 4F	03-5954-7391	03-5954-7503

2. 学生（生徒）の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成24年5月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) (②+③) ÷ ① × 100
通信制課程 (広域)	普通科	※※※※※※	3,000	1,910	369	147	75.97%

※④は通年での登録者数

(2) 平成24年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧 ※ 3月初旬の対象者の数値のため、予想値

	入学者数(途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	889	914	6	27	約 247※	—305
聴講生	136	—	—	—	—	—

3. 教職員関係

(1) 平成25年度管理職の概要

職名	氏名	備考（留任・新任等）
校長	林 周剛	新任
教頭	南條 将範	新任
教頭	吉田 士文	新任
事務長	島野 和美	留任

(2) 平成24年度教職員の概要（平成24年5月1日現在）（教員）（ ）は管理職の数。非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜に集約。

		合計（人）	堺本校	事務C	梅田	三宮	新宿	池袋	横浜分校
教員	本務	30	6	2	5	3	4	4	6
	非常勤	82	53						29
職員	本務	6	1	3	1				1
	兼務	9		7		1	1		

↓ ↓ ↓

平均年令 ①専任・常勤の平均 教員 男 37.2歳 女 35.3歳 職員 男 43.0歳 女 38.7歳

②非常勤講師の平均 男 58.2歳 女 36.2歳

※ 技能連携校委嘱非常勤講師→26名（5校）は上記概要より除く

平成25年度予定 非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜分校に集約。

	採用区分	合計（人）	堺本校	事務C	梅田	三宮	新宿	池袋	横浜分校
教員	本務	29	6	1	5	3	4	4	6
	非常勤	82	53						29
職員	本務	6	1	3	1				1
	兼務	9		7		1	1		

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

- 1、サポートクラスの定着化（完成年度平成27年度）
- 2、通学クラスからサポートクラスや通信クラスへの移行措置
- 3、池袋・三宮キャンパスの移転
- 4、新地域へのキャンパス設置

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

平成24年度より運営を開始したサポートクラス事業は、生徒登録者数（新生・在校生含む）合計約360人、初年度約7,200万円の補助活動収入を得ることができた。しかしサポートクラスは学年進行していくクラスの為、3学年の生徒さんが揃うのが平成27年度4月である。よって平成27年度をサポートクラスの完成年度と位置づけ、サポートクラスの定着化に向けて事業展開を行う。

また、移行期間においては旧制度で入学した通学クラスの生徒さん達を卒業に向けて導くことも急務でありサポートクラスの定着化と同時進行で取り組みを行う。

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
25	サポートクラス運営の定着化	平成24年度より開始したサポートクラスの完成年度（平成27年度）までに、生徒入学者数だけでなく、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。	平成24年度より募集開始。 平成24年度の実績は会計書類参照。
25	通学クラスからサポートクラスや通信クラスへの移行措置	従来の「自学自習」での学習を中心とした通信制の特性を生かしたクラスは「通信クラス」として運営する。旧通学クラスに在籍している在校生には、サポートクラスや通信クラスへのクラス変更での対応や、平成27年度までに卒業ができるようにサポートする。	平成24年度よりクラス変更の案内は随時実施。
25	池袋・三宮キャンパスの移転	池袋・三宮キャンパスは、賃貸開始から15年経過し、建物の老朽化が進んでいる。また、池袋・三宮地域の賃料相場が低くなっているため、同条件以上（賃料が安い、駅地下、バリアフリー物件など）の賃貸物件を探すことが可能。教育環境の充実および経費削減の観点から、移転を検討する。	平成25年度10月移転目標。 現在物件選定中。
25	新地域へのキャンパス設置	サポートクラス専用の新しいキャンパス設置を目指す。 東大阪、神奈川西部は、近年入学者数が大幅に減少している地域。 地域密着型の新規キャンパスを同地区で設置し、新しい入学者エリアの開拓を行う。	平成26年度設置目標。 現在物件選定中。

② 施設・設備の整備計画 事務C 門扉の改修 予算200万円

(3) その他

① 授業料変更等

		概 要
25	授業料変更はなし 補助活動費を学則に掲載し、学費として取り扱いができるようにする。	平成25年度10月入学生より

②卒業生数、就業者数、学位授与数の見込みについて

1、(2)の実数値を参照

③学生生徒の就職、進学状況について(25年3月卒業予定者 682名・技能連携校 94名 合計776名の内

・大学進学者:101名 短期大学進学者:7名 専門(各種)学校進学者:144名 就職内定者(学校斡旋のみ):17名(H24.3.7現在)

④教職員採用・退職計画

年度	事項	概要
25	教職員採用(1年契約:常勤・非常勤講師・パート・アルバイト)	常勤講師(1年契約・3名)、 非常勤講師(1年契約・約80名)、パート・アルバイト(1年契約・9名)
	補助活動計画分	サポートスタッフ15名程度

⑤今後の課題について

・不適切施設について

継続して大阪府と協議しながら不適切施設の改善に努めていく。

5. 財務の概要(別紙参照)

生徒数の減少傾向は、平成25年度以降改善の兆しがある。(平成25年3月7日現在、入学者数昨年度比較で1.8倍)

また、サポートクラスの補助活動収入も好調で平成24年度も予定額以上(約2000万円)の収入があったので平成25年度も期待ができる。※詳細は別紙当初予算書類を参照。

収入は好調だが、経費削減や人件費の抑制などの取り組みも引き続き行い、安定した収益を得られるように運営する所存です。